

## 班別討議「確保維持改善事業の「他己評価」」での 各班発表メモ及び講評のまとめ（抜粋）

### 《各班発表》

#### 【1班】

- 目標の設定の方法：利用者数と収支率があるが、コストを見ると外的要素に左右されるため、利用者数で見るべきか
- 書式③について、個別に取り組んでいる利用促進策も、KPIを含め記載してもよいのではないか

#### 【2班】

- 目標設定について：収入や利用者数に応じて設定するのが望ましいのではないか。利用率のためには乗り方教室が重要だが、制度を周知して利用率を上げていく必要がある

#### 【3班】

- 乗客数が増加しているが、誰が使っているかを検証することによりターゲットが絞れ利用促進につながる
- 満足度→デマンドやコミバスなら活用可能、その満足度の背景を確認することが重要
- 補助金を活用している場合、課題を住民と共有することも重要

#### 【4班】

- どういった書き方が望ましいか：エリアごとの特性を考慮すると自己評価につながる
- 目標値に人数に加え、乗合率も入れると違った視点が入るのでは
- 利用率が横ばいしないし低下となっている：背景を深堀するとよいのでは
- 人口減少が理由で「C」とすることの妥当性

#### 【5班】

- よかった点：フィーダーに加え幹線バスの利用者数も目標値に入れている
- 悪かった点：深堀出来ていないのか、評価のための評価になっていないか

#### 【6班】

- 5系統のコミバスそれぞれの利用者数を目標値としており、系統毎に細かく評価している
- トリガー制度導入（利用促進の必要性が高まる）について、住民との協議会が年1回でフォローできるか
- 16ルート運行の目標として、「全16ルートで協議会を開催」は素晴らしいが、参加人数だけで評価するのがよいか、もっと利用者の声をくみ上げるような指標とらないか

#### 【7班】

- 目標設定で数値化できるのは利用者数や収支であり、幹線や鉄道とセットとした際にどういう目標が設定できるか

- 乗込調査、アンケートは素晴らしいが、マンパワー不足の中でそのような目標設定は苦しいのではないか
- 非利用者の声がどこまで真のニーズであるかは見極めが難しい

#### 【8班】

- 数値目標は定量的、利用者数や収支率に加え、質的な定性的なものをいれてもよいのではないか
- 前年度の実利用者20人から目標200人とするものの適切性
- 達成できなかったものの要因：同じ取り組みを行った場合の結果の記載の有無
- PDCAを複数年で回すことはよい
- 評価シートの活用方法やシートの改善も必要では

#### 【9班】

- 良い点：満足度や利用者数、系統ごとに達成・未達の理由をしっかりと分析している
- 改善点：住民要望に基づき、夏増便した取り組みについて、他の項目と併せて評価されており当該取り組みの評価となっていない可能性

#### 【10班】

- コミバスは公共がすることであり利益追求ではないため、何を目標とするか、人数を設定するとしても、ターゲット次第  
目標が1便2名程度ならタクシーの方がよいのでは

### 《講評》

#### 【辰巳先生】

- 延べ利用者数の調査と共に個別調査により、高齢者数のうち実質何人の人が助けられているかという指標もあるのではないか。  
外部要因をいかに除いて、純粋な努力の結果を評価できる指標が必要ではないか。
- 九州地方整備局でも単にB/Cだけでは評価できないところを、定性的に評価するのではなく、トータルで評価する流れがある。  
地域の公共交通も、定量的なところを押さえつつ定性的な部分で補強しつつ、総合的な評価の形になればいいのではないか。

#### 【梶田先生】

- 目標設定の仕方については、利用率など様々な指標がある。  
系統毎に個別に出すと言う意見もあったが、濃淡もあるので、トータルしてネットワークとして旨く回っているかという評価もあるのではないか。
- 私的な評価をどう数値化するのかという研究もされている。総合的に評価することを考えていければいいのではないか。

#### 【大井先生】

- 事業をやっていく中で、どこにターゲットを当てるのか、その部分が出来ているのか出来ていないのかで目標値の設定方法が変わってくる。
- 評価書の中でもターゲットをきちんと書き込んでいるところは、自ずと評価もいいものになっている。

- 何でも取り込むことや利用者は高齢者と通勤・通学者と決め打ちでやっていると意外に痛い目にあう。
- 公共交通の移動をその町でどういう目的を達成させるために運行しているのか、そのあたりの書き込みがヒントになるのではないかな。
- 目標設定について、コミバスとデマンドタクシーだけではなく、そこに繋げていく幹になる幹線も入れて目標設定されている場合、その町の交通が幹と枝を考えて作っているという現れ。そこまでちゃんと考えるようにやっていけばいいのではないかな。
- 最初に目標を掲げてやっているが、最後にBでやったものがCで出来ていないとの話もあり、過去の第三者評価委員会でも指摘されているところ。網形成計画の中で漏れていないかチェックリストを意識して行って欲しい。